

月刊
さわやか

第16号
平成20年8月15日

《発行》
(社)日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
0421581-8171

設立30周年記念

さわやか安全大会を開催

就業職場の体験発表と安全対策

当センター設立30周年記念行事前半の山場として、安全管理委員会主催の「さわやか安全大会 就業職場の体験発表と安全対策」が7月16日、日野市民会館小ホールで開催され、149名が参加しました。総合同会は安全管理委員の橋本幸久理事。

第1部 安全フォーラム

安全大会は2部構成で、第1部は安全フォーラム。井口会長の開幕挨拶につづいて、7名の職場代表が順次、職場での体験と対策をそれぞれ約10分間、報告しました。

報告者は、次の7名の方々にす(敬称略)。一人職場「今井信一(第六小学校)、花岡如江



さわやか安全大会ステージ全景

(女性グループ)、渡邊敬明(七生自然学園テニスコート)、複数職場「川元俊宣(豊田駅周辺自転車整理)、大倉昭次(植木班)、佐藤倫夫(草取り班)、

会員数

平成20年6月30日
1,601名
男性 1,227名
女性 374名
入会者数
6月度17名
(男12名、女5名)
但し、退会者 7名

第2部 基調講演

吉澤千尋(公園管理)。
この職場報告に対し、同大会招待講師である東京しごと財団の丸山眞弘氏(安全・適性就業パトロール指導員)が、一人職場、複数職場に分けて前後2回、複数職場に分けて前後2回、講評しました。「丸山氏の講評および7名の報告要旨は『シルバーひの』9月号に掲載します」

第2部は、特定非営利活動法人「失敬学会」副会長の飯野謙次氏による基調講演。飯野氏は「ダメ失敗を撲滅する」と題し、「失敗を避ける仕組みを作ろう」と90分間にわたりお話ししました。この講演は、シルバー人材センターの第七ブロック(都下南多摩地域)の会員研修に位置づけられており、日野市以外の7市SCから計31名の方々が参加されました。「基調講演要旨も『シルバーひの』9月号に掲載」

ホームページ入選の基準は5項目

当センターのホームページが全国のシルバー人材センターの中で、最優秀6作品の一つに選ばれた(本紙前号で紹介)ことに対し、会員の方々からは「どんな基準で選ばれたの?」との質問が寄せられています。選考基準は次の5項目です。

見やすいか(フォントの大きさを含む) 必要な情報が記載されているか 画面が目新しいか、斬新か 更新が定期的になされているか 情報開示がなされているか

年会費未納者は

7月末現在246名

平成20年度会費(2000円)の未納の方が、7月末現在246名います。自動振り込み手続きをされた方でも、残高不足のため引き落とすできなかった場合や、まだ納めていない方は、早急に事務局へ納めるようお願いいたします。

なお、「不明の方は事務局までお問い合わせください。(事務局)

中面に別冊2種「就業情報とアンケート結果を折り込み

役員・地域班長合同研修

日光市SCの学童保育事業を視察

今年度初の役員・地域班長合同研修が7月17日に行われ、37名が日光市シルバー人材センター（SC）を訪問しました。

日光市SCを選んだ理由として、井口会長は訪問の挨拶で、日光市SCが学童保育事業で全国有数の業績を挙げており、一方、日野市ではシルバー人材の経験を活かしての子育て支援参加の声があり、日光市の先進例に学びたい、とのべました。

日光市SCの渡辺理事長、上山事務局長の説明によると、現在の日光市は平成18年3月に2市2町1村（今市市、日光市、足尾町、藤原町、栗山村）の合併によって成立（注）。SCも今市市を中心に統合され、現SC本部は旧今市市にあります。

就業会員が100名に

中心テーマ、日光市SCの学童保育事業（当地では「放課後児童会事業」という）については、事務局の担当者、女性の総務係長、絵面（えづら）さん

がプロジェクターを使って説明しました。

この事業の開始は平成6年。旧今市市SCが当時の今市市から委託を受けました。その後、事業は順調に発展。現在は就業会員が100名（女性71名、男性29名）に達し、対象児童は小学校1～6年（日野市は1～3年）1000名を超え、契約高は公共事業の四分の一を占めています。事務局に専任コーディネーター1名を配置しています。



日光市SC担当者の説明を聞く

（注）ちなみに、新日光市の人口は9万4千人で日野市の53%ですが、面積は栃木県の四分の一で東京三多摩に匹敵する広域です。

第3回地域班長会議 班長後継問題など討議

第3回地域班長会議が7月15日、生活・保健センターで開かれました。出席者は井口会長、北村副会長、池田常務理事、安藤筆頭理事、総務・事業・広報各部長、安全管理委員長、および地域班長27名。地域班長の欠席者は6名（18%）でした。欠席者の一部は常時欠席の傾向があります。

主要な協議事項は、全地域班一斉清掃の結果と、前回につき「地域班長のなり手がいない、どうしたらよいか」。討議では、のぼり旗を増やしてほしいという発言に対し「旗は不要」との意見が、ボランティア活動でも意義の強調に対し「あくまで自発的に」との意見が出されました。班長問題では悩みも含めさまざまな意見が出始めたという段階です。

理事会二ユース

第5回理事会 7月31日

- ・審議事項 正会員の入会、嘱託職員・臨時職員雇用要綱の一部改正、センター車両管理規定、就業規約の一部改正等
- ・報告事項 6月度事業運営状況、各専門部会・安全管理委員会の活動報告

「センター行事日程」

9月5日（金）就業期限確認書交付式「生活・保健センター」

彩友会第2回絵画展

8月26日（火）～31日（日）午前10時～午後5時
豊田市民ギャラリー「連絡先」松坂 593 4379

会員意向調査結果は「シルバーひの」9月号に掲載します。

配分金の支払日

- 8月20日（水）
- 9月19日（金）
- 10月20日（月）
- 11月20日（木）
- 12月19日（金）
- 1月20日（火）
- 2月20日（金）

日野市シルバー人材センター設立30周年記念行事
 第12回 **会員作品発表会 《作品募集》**

開催期間：11月20日(木) ~ 23日(日) / 日野市民会館2・3階展示室

募集品目：絵画、水墨画、写真、書、切り絵、手工芸品、盆栽、水石、生け花、陶芸、カップ
 ークラフト、紙漉き、飾り炭、その他(ただし、大きなオブジェ等のご遠慮ください)

作品サイズ：絵画=15号以内、書=連落ち以内、写真=六つ切り以上

申込方法：氏名・地域班名・電話番号、品目・点数・題名・サイズを明記し、ハガキにて

申込期限：9月末日まで

申込み・問合せ先：事務局・鶴川 Tel . 581 - 8171

65歳以上の女性の方 51名緊急募集!
被服に関する簡単な「実験対象者」のお仕事、1回限り

実践女子大学アパレルデザイン研究室では、着心地よい衣服を設計するため人体の静的動的測定をおこないます。そのため実験着に着替えての計測に協力して下さる方を募集します。

- ・期間：平成20年9月2日(火)~10月3日(金) / 日時の指定あり。1人1回1時間程度
- ・配分金：3,000円 / 1回
- ・場所：実践女子大学本館3階 330教室(日野市大坂上4-1-1)
- ・問合せ・申込方法：事務局・生田までお電話ください。(581-8171)

2008

フェア・エイト

10月22日(水)日野市で開催

午前9時30分~午後3時30分

フェア・エイトとは?

都下第七ブロック(南多摩地域)8市シルバー人材センターの祭典。8市は八王子、府中、調布、町田、日野、狛江、多摩稲城。今年の日野市が当番市。メインテーマ「高齢者の生きがい充実と心身の健康づくり」

フェアの主な内容

基調講演「岡 幸江氏(埼玉大学准教授)「高齢者の生きがいと地域貢献」(仮題)
 健康教室「メタボ測定と予防・解消(指導：日野市健康課保健師)
 会員発表会「テーマ「私の生きがい」または「私の健康づくり」」各センターから1名
 落語「口演・森ヶ家二八氏(モリカケニ八子)(東大落語研究会出身、学生落語の草分け)

会場

日野市生活・保健センター(8部屋と前庭)

「生き生きカルチャー教室」10月開講 申込み迫る

講座期間「平成20年10月、21年3月(半年間)」

申込み「9月8日(月)~12日(金)事務局にて電話受付」
 「先着順(担当：山口)」

講座名(曜日)「囲碁(土)、エッセイ(土)、鉛筆スケッチ画(水)、写真(土)、毛筆書・筆ペン書(土)、着付け(土)、創作紙粘土(木)」
 詳細は事務局のチラシ参照。

それってなに? 就業調整委員会

公共部門の定期募集に際して、応募者の中から就業者を決定する機関。委員会の構成は副会長、事業部会長、事務局長、および地域班長2名の計5名です。選考基準は従来、未就業期間と申込回数、さらに健康、協調性とされてきました。しかし、最近の不祥事多発から「適材適所」が強調されるようになり、従来の基準に加え「適性」を重視するよう、7月から就業調整委員会設置要綱が改正されました。

日野市シルバー人材センター 設立30周年記念式典

日時 = 11月22日(土) 午前10:00 ~ 12:00
場所 = 日野市民会館大ホール

[第1部 式典]

挨拶	井口会長、馬場日野市長(名誉会長)、手嶋日野市議会議長ほか
感謝状・記念品	主要な民間発注者
表彰・記念品	10年以上在籍の会員 2期4年以上にわたり理事・監事および地域班長を務められ、 退任された方 (ただし、3期6年以上の現役の地域班長を含む)

[第2部 アトラクション]

テノール歌手・村上敏明氏ら村上ファミリーが総出演
敏明氏のほか、父・敏雄氏、母・悦子氏、兄・宣也氏



村上敏明氏

全会員(式典当日在籍中)に記念品を贈呈
式典への参加者に紅白饅頭を進呈

連続無事故記録を 更新中 330日に

当センターでは昨年9月21日以来、無事故が続いています。本紙発行の8月15日現在、無事故330日の記録更新中で、本紙5月号に次いで2回目の無事故マークを掲げます。



会員の皆様、これからも一人ひとりの注意と心身の健康安全に努めましょう。(安全管理委員会)

特定健診、生き生き 検診を受けましょう

今年4月から住民健診が変わり、従来の「高齢者健診」はなくなり、誕生月の少し前に、国保に加入している40〜74歳の方には「特定健診」、75歳以上の方には「生き生き健診」の受診券など関連書類が市から送られてきます。問い合わせ先は市の健康課ないし保険年金課です。

お元気ですか

去年の4月ごろ、日野中央公園で「グリーンリサイクル」(家庭で不要になった植木、草花を無料で提供する仕組み)を覗いたら、盆栽や草花鉢に混じってカトリアの大株があった。

枯れて元々と貰い受け、すぐさま植え替えたら、2カ月後に力強い新芽がぐんぐん伸びたが、期待した花は咲かなかった。

それからは、鉢の置き場所、日当たり、通風、温湿度、水、肥料を、ラン図鑑やその育て方の本の通りに実行したら、今年になって華麗な大輪が咲いた。同じ頃に手に入れた胡蝶蘭も咲いた。

新しく手に入れたシンビジウム、デンドロビウム、エピデンドラムも、「元気に丈夫に育てよう」と一生懸命になって手入れをしている毎日です。

「子育ては何もしなかったのに」と妻はぶつぶつ言っているが、馬耳東風! 来年は居間テーブルを沢山の花で飾ってみよう。より多くのさわやかな会話を家族で共有できるように。(今井信一)